令和8年10月　月例記者会見（令和8年10月8日）市長原稿

皆さま方には、平素より市政運営にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

※市長コメントあり

それでは、10月の月例記者会見の資料について説明いたします。

【市長】

まずはじめに、資料№1　ハイ“こちら市長室です”「市民と語る日」の試行実施についてです。

この取り組みは、かつて、裾野市名誉市民であります、大橋俊二市長の時代に行っていたもので、市民の皆さんに、直接市長室にお越しいただき、市政に対するご意見や建設的なご提案を直にお聞きし、今後の市政運営に生かしていこうというものであります。

対象は市内に住んでいるか、通勤、通学している方です。初回となる10月27日（火）は、15時からお一人30分の面談時間を設け、合計４件の面談を行います。

希望される方は、10月13日（火）から16日（金）の間、事前にオンラインフォームや電話、直接窓口などの方法で、お申し込みいただきます。なお、申込多数の場合は、事前に調整をさせていただく場合がございま

す。

今年度は、10 月、11 月、令和 9 年 1 月の 3 回、試行的に実施し、方法等について検証した後、次年度以降から月１回の本格実施に移行してまいりたいと考えております。

【市長】

資料 No.2「裾野市公共ライドシェア実証運行」についてであります。

地域住民の皆さまの移動手段を確保するため、昨年度に引き続き須山地区を中心とした公共ライドシェアの実証運行を実施します。

運行期間は 11 月 2 日から来年 1 月 29 日までです。

今年度は昨年度より運行期間や運行内容を拡充して実施します。

詳細は、都市計画課　勝間田主幹より説明します。

【都市計画課　勝間田主幹　説明】

都市計画課 勝間田です、よろしくお願いいたします。

本事業は、令和8年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト「交通空白」解消タイプを活用し、昨年度に実施した実証運行及び移動データ分析の結果を踏まえ、高校生の通学をはじめとする地域住民の日常生活に必要な移動ニーズに対応するため、昨年度の運行時間

帯に、昼間の時間帯も加え、公共ライドシェアの実証運行を実施します。名称は「すやまおでかけ号」です。

運行期間は、令和８年11月２日から令和９年１月29日までの平日で、土日祝日および年末年始は運休となります。

運行方式は事前予約型の乗合運行です。朝と夕方は定時定路線運行を行い、須山地区と岩波駅を結ぶルートを運行します。日中は区域運行とし、商業施設や公共施設などへの移動に対応します。

主な利用対象者は、須山・下和田・呼子地区にお住まいの皆さまで、高校生や高齢者をはじめ、移動に課題を抱える方々の利用を想定しています。

運賃は大人500円、小中高校生200円、小学生未満は無料です。

予約は配車アプリまたはコールセンターで受け付けます。利用日の５営業日前から前日午後５時まで予約が可能となっています。

今回の実証運行を通じて、地域の皆さまの移動の利便性向上を図るとともに、将来的な地域交通のあり方を検討するためのデータ収集と効果検証を進めてまいります。

私からの説明は以上です。

【市長】

資料№3 「生活福祉相談センターの移転」についてです。

これまで、裾野市役所南側の旧・裾野駅西土地区画整理事務所にありました「裾野市生活福祉相談センター」は、先月9月28日（月）からベルシティ裾野の1階に移転しました。

この生活福祉相談センターには、高齢者の暮らしや介護に関する相談窓口である「地域包括支援センター」と、生活に困っている方の相談窓口である「生活自立支援センター」、消費生活全般のお困りごとに関する相談窓口である「消費生活センター」の3つの機関が入っています。

ベルシティ裾野という、多くの市民が足を運ぶ店舗の中で営業できることで、これまで以上に親しみやすい公共施設となることと、店舗3階にハローワークプラザ裾野もあることで、さらに重層的な支援につながることを期待しております。

【市長】

資料№4「裾野市ふるさと納税　新商品開発・魅力発信　応援プロジェクト」についてです。

本年度、新たな取り組みとして、ふるさと納税を通じた市内事業者等の「新しい挑戦」を応援する「裾野市ふるさと納税 新商品開発・魅力発

信 応援プロジェクト」を実施します。

内容、詳細について、産業・イノベーション推進課 川口主任より説明します。

【産業・イノベーション推進課 川口主任 説明】

産業・イノベーション推進課の川口です。

本プロジェクトは、市内事業者等から、新たな返礼品開発、既存返礼品の付加価値向上、返礼品の掘り起こしに関する取組みを募集するもので、本プロジェクトの対象となった場合、本市が行うお披露目会やふるさと納税ポータルサイト等を通じた認知向上及び販売機会拡大の支援を行うものです。

市内事業者は、売上増加、認知度・信用力の向上、販路拡大等の効果が見込まれ、市としては魅力ある返礼品の追加、ふるさと納税寄附拡大、産業基盤の強化に寄与するなど、事業者と市双方にとって魅力的な効果が期待できるものです。

多くの企画提案をお待ちしておりますので、本プロジェクトのご周知をどうぞよろしくお願いいたします。

私からの説明は以上となります。

【市長】

資料№5「2026市民のふれあいフェスタすその」についてです。

10月17日(土)・18日(日)に「2026市民のふれあいフェスタすその」を市民文化センターで開催します。

今回のフェスタすそのは、「今日はまちが面白い～懐かしくて新しい秋の産業祭」をサブテーマに設定し、しゃぎりなどの“昔懐かしい”伝統文化を感じつつ、最新技術を搭載した自動車周辺機器や健康サポート機器などの展示・体験を行います。

また、特産品相互協定を結んでいる大阪府泉佐野市の水ナスの浅漬け福島県相馬市の梨の販売など、特産品や食事を楽しむ出店、キッチンカーもあります。

こどもから大人まで楽しめるイベントが盛りだくさんですので、多くの方のご来場をお待ちしております。

【市長】

資料№6「第43回裾野市消費生活展、消費者お金のセミナーin裾野」についてです。こちらは、市民のふれあいフェスタすそのと初日と同じ日、同じ会場でありますが、第43回裾野市消費生活展を、10月17日(土曜日)に市民文化センター2階展示室で開催します。

時間は午前 10 時から午後 3 時までです。

会場では、参加団体によるパネル展示や防災用品の展示をはじめ、リサイクルバザー、地元農産品の試食などを行います。消費生活や環境、防災について楽しく学べる内容となっております。

また、消費生活展と同時開催で、静岡県と連携した「消費者お金のセミナー」を開催します。時間は午後 1 時 30 分から午後 2 時 30 分まで、会場は市民文化センター31 会議室です。

テーマは、「将来に向けて知っておきたいお金の話」です。資産形成や家計管理に関する知識について学べる内容となっています。受講は無料で、定員は 30 名です。

申込みは、10月16日（金）までに、市公式ウェブサイト掲載の申込フォーム、または、商業観光政策課・消費生活センターへの電話となります。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

【市長】

資料№7　ランバイクチャレンジSUSONOについてです。

市では、スポーツを通じた地域づくりに関する連携協定を締結している「レバンテフジ静岡」と協働し、11月1日（日曜日）に裾野市運動公園で「ランバイクチャレンジSUSONO」を開催します。

ランバイクは、ペダルのない幼児向けの二輪車で、子どもたちが楽しみながらバランス感覚や運動能力を育むことができます。
当日は、2歳から6歳までの未就学児を対象に、初心者向けの体験会やミニレースを行います。参加費、レンタル料ともに無料で、初めてのお子さまでも気軽に参加いただけます
事前申込み制となります。
多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

【市長】

資料№8 「第50回 富士山すその花火まつり」についてです。
11月14日(土)に市民文化センターを中心として、「第 50 回 富士山すその花火まつり」が開催されます。
今回は記念すべき第 50 回目、節目の年でありまして、市民の皆様にこれまで以上に、お楽しみいただける特別企画を用意してございます。
詳細については、商業観光政策課 鈴木主席主査より説明します。

【商業観光政策課 鈴木主席主査 説明】

当市を代表するイベントであります「富士山すその花火まつり」も、今年で記念すべき50回目を迎えます。

半世紀の節目となる今回は、例年にはない「手筒花火」の披露も予定されており、ご来場いただく皆様の記憶に残る素晴らしいひとときとなるよう準備しております。

秋の澄んだ空気の中で、夜空を彩る美しい花火をお楽しみいただけることはもちろん、花火の打上げ時間までの間は、イベント会場となる裾野市民文化センターにて、多くの飲食店販売やキッズダンスなどのステージイベント、豪華景品が当たるかもしれないスタンプラリー抽選会など、1日中お楽しみいただける内容となっております。

ぜひ、事前の告知と当日の取材をしていただきますようお願いいたします。なお、今回初めての試みとして、市公式 YouTube では 18 時から花火の打ち上げの様子をライブ配信いたします。会場に来られない方もリアルタイムで映像をとおしてお楽しみいただけたらと思いますので、こちらの周知にもご協力いただきたくお願いいたします。

【市長】

最後に、資料№9　アイリスオーヤマ株式会社様からの寄附（ポータブルクーラー）についてであります。

先月、9月16日にアイリスオーヤマ株式会社様から、企業版ふるさと納税制度を活用したご寄附として、ポータブルクーラー100台を頂戴

しました。

市内の小・中学校に約60台を設置したほか、幼稚園や保育園などにも配置し、教育・保育環境の充実につなげています。

市といたしましては、ご寄附いただいたポータブルクーラーを大切に活用し、子どもたちが安心して学び、健やかに成長できる環境づくりをさらに進めてまいります。

アイリスオーヤマ株式会社様に深く感謝申し上げ、私からの報告とさせていただきます。

なお、本日、追加資料といたしまして9月18日に報道提供いたしました「緊急銃猟訓練」のご案内も配布させていただいております。

明日9日（金曜日）午後1時30分から生涯学習センター及び市民文化センター第2駐車場で当市としては初となる「緊急銃猟訓練」を実施いたします。昨今、生活圏へのクマの出没は全国的にも大きな問題となっておりますが、本年は当市でも実際に住宅街にクマが出没し、日頃から不測の事態に備える必要性を痛感するところでございます。こちらにつきましても、ぜひ、取材していただき多くの皆様に日頃からのクマ対策、安全対策の必要性を啓発できたらと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

以上、駆け足でありますが、資料 No.1から資料 No.9の説明、および、明日の緊急銃猟訓練についてお知らせさせていただきました。

この後は、皆さまからのご質問をお受けしたいと思います。